

～子どもたちの「ことば」の学びのために～

幼稚園、保育園の先生、お友だち、家族、地域の人たちとのふれあいや日々の暮らしの中で子どもたちのことばは毎日どんどん増えていきます。

親が使うことばと、幼稚園、保育園の先生、お友だち、地域の人たちとふれあう中で使うことばを、両方身につけられれば、子どもたちは今よりもっと楽しく過ごしていけると思います。では、どのようなことに気をつけていけばいいのでしょうか？

【家庭の中で】

1. 子どもが親の話せることばにできるだけ多く触れる時間を作りましょう。

※子どもは親の口の動きを見て、それをまねすることでことばを覚え、話せるようになるといわれています。ビデオやテレビを見せるだけでなく、子どもの顔を見て話しかけるようにしましょう。



※親の話せることばで書かれた絵本をいっしょに読みましょう。

ひざに乗せて子どもの顔を見ながら、ゆったりと絵本を読み聞かせする時間は子どもと心のつながりを深くすることができます。

子どもといっしょに読みながら、絵本からたくさんことばを学ぶことで、親子の会話がスムーズにできるようになります。

小学校に行くまでに子どもたちにたくさん絵本を読んであげてください。



2. 自分たちの子育てに自信を持ちましょう。

※10人のお父さん、10人のお母さんがいれば、みんな子どもの育て方が違います。

親同士がなかよくなって、子育ての情報をお互いに交換して、いいところはどんどん取り入れていきましょう。



【地域に目を向けて】

※子どもは地域に育てられます。

いろいろな人と関わって、いろいろな言葉や文化、考え方を知ることは子どもにとってとても大切なことです。

まず、自治会や子ども会のイベントに、子どもと一緒に

参加してみましょう。家では体験できないことや学べないことが

たくさん見つかるはずですよ。地域とのつながりを大切にしましょう。



1. 近くにある施設に出かけてみましょう。

本を借りる…校区市民館（小学校の近く）
体育館を使う…地区市民館
からだを動かす…公園



※体を動かして遊ぶことは健康な体づくりにつながります。

また、兄弟以外の子どもたちといっしょに遊ぶことで、なかよくするためのルールやマナーを身につけることができます。
お天気のいい日はなるべく外に出て、子どもといっしょに遊ぶようにしましょう。



2. 子育てサークルなどのイベントに参加してみましょう

親子で体を動かして遊んだり、歌を歌ったり、絵本をいっしょに読んだりして楽しい時間が過ごせます。また、同じ年の子どもをもつお母さんたちと話しながら、子育てで悩んでいる事や心配な事を相談することもできます。
親も子どももなかよくなれるところです。いつ・どこでやっているのかは、豊橋市の広報に書いてありますので、ぜひ、一度行ってみてください



〈プレスクール〉

豊橋市では、小学校へ入学する前に、ひらがなを書く練習やあいさつの練習などをするプレスクールを、毎年11月から3月までやっています。プレスクールに参加すると小学校での授業を受ける態度がよくなり、勉強もしっかりとできるようになります。
小学校へ入学する家庭に市役所からお知らせが届きますのでぜひ、参加して下さい。



たくさんの人に愛され、楽しい体験をして、ことばを覚えた子どもたちは、きっと優しい心を持った大人になるでしょう。

子どもたちが大人になって、親になり、子どもを育てるようになったとき、自信を持って子育てができるように、お父さん、お母さん、私たちといっしょに子どもたちを育てていきましょう！

特定非営利活動法人 フロンティアとよはし
愛知県 子育て外国人の日本語習得モデル事業